

## 開校式校長挨拶

宗像市教育委員会 遠矢（とおや）教育長様からの開校宣言に引き続き、谷井博美（たにいひろみ）市長様から温かい激励の言葉をいただき、教職員一同、身が引き締まる思いです。本日、県内では2校目となる「義務教育学校 宗像市立大島学園」の歴史がはじまりました。

この記念すべき式典に、福岡県議会議員 伊豆美佐子様、吉武邦彦様、福岡県教育庁福岡教育事務所 川島耕司（かわしまこうじ）様、宗像市議会 副議長 石松和敏（かずとし）様、宗像市議会議員の皆さまをはじめ、多くのご来賓の皆様、そして、旧大島小学校・大島中学校の卒業生である地域・保護者の皆さまにご参集いただきましたことに、厚くお礼を申し上げます。

ここ大島の殆どの子どもは、高校進学とともに渡船での通学が難しいため、島を出て、島外で生活を始めることとなります。寂しいけれど親元を離れ、愛した島を離れて独り立ちをしなければなりません。我々は、このことを「十五の春」と呼んでいます。さらに、子どもたちを取り巻くこれからの社会は、変化・変動・変革の著しいものとなるといわれています。「十年一昔」では到底済まない、一年一年そのものが変わり続け、世にいう常識がすぐに変わってしまう、大人でも激しい変化に戸惑うことも多いと思われれます。

大島学園では、そんな変化の激しい時代に「二十一世紀の社会を担う人材育成」をめざし、子どもたちの実践力を培います。

そのためにお配りしているパンフレットにもありますように、4つの特色ある教

育活動を展開しながら、「教育のブランド化」を目指します。

ひとつは、「外国語活動・外国語科」の充実です。二十年後の日本を見据えて英語教育を充実し、「英語が使える大島の子ども」の育成を目指したいと考えています。義務教育学校ではより柔軟に教育課程を行うことができますので、1年生からの外国語活動を実施、前期課程に外国語科専門の先生を配置、6・7年生には後期課程英語科の先生と2人での授業、更に、宗像市から学力向上支援教員を配置していた、前期課程の早い時期から外国語活動や外国語科の充実を図り、学びを繋いでまいります。

ふたつは、前期課程から教科担任制を実施します。教員の専門性を生かし、6年生では全教科で教科担任制を行い、指導の充実を図ります。

みつつは、きめ細やかな指導の充実です。小規模校の特性を活かし、「個人カルテ」を活用するために時制を工夫し、一人一人に応じたきめ細やかな指導を行います。

よつつは、新たな教科「大島ふるさと学習」の構築です。大島の地域の特性を活かし、子どもたちが自ら地域に関わる学習や世界遺産に関する学習を9年間通しておこなっていきます。

課題は山積みしていますが、義務教育学校の先駆けとして教職員の力を集結し、「大島から風を起こす」所存です。

地域・保護者の皆さま、教育委員会、関係機関の皆さまには、昨年、義務教育学校の開校が決定以来、何回もの、夜の説明会や話し合い・打合せをさせていただきました。これまで義務教育学校の開校にご尽力をいただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

最後になります。我々教職員一同、子どもたちとともに旧大島小学校・大島中  
学校がそれぞれ長い歴史の中で築き上げてきた豊かな歴史と伝統を継承・発展させ、  
新たな校風と歴史を築いていくために全力を尽くす覚悟であります。皆さまには、  
今後とも本学園へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。校長の挨拶とい  
たします。

平成三十年 四月 六日

義務教育学校 宗像市立大島学園 校長 竹原 誠